

9月10日は「下水道の日」です

問合先 市上下水道部下水道施設課 (☎24-5131)

下水道の日は1961 (昭和36) 年、「全国下水道デー」として下水道の普及を目的に始まり、2001 (平成13) 年の旧下水道法制定100年と、21世紀のスタートのタイミングで今の名称になりました。日付は「大雨からまちを守る」という下水道の役割があることから、台風シーズンの9月10日と定められました。

下水道マスコット
キャラクター
「スイスイ」

下水道の役割

快適な生活をつくる

汚水がまちに直接流れなくなることで害虫や悪臭の発生を防いでいます。

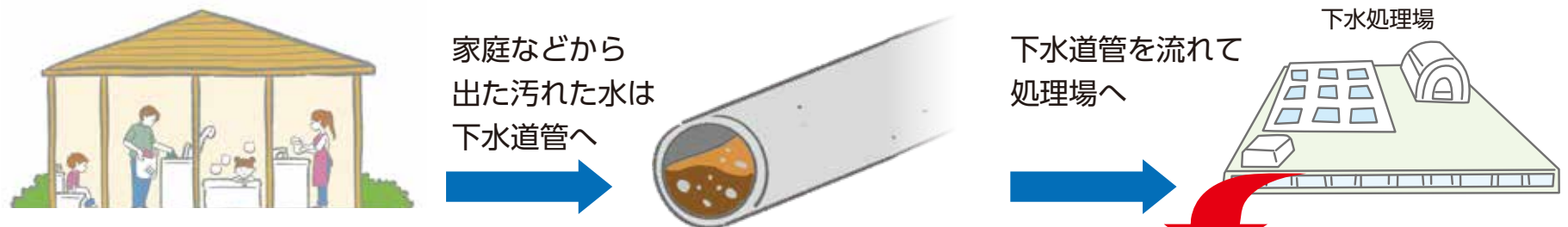
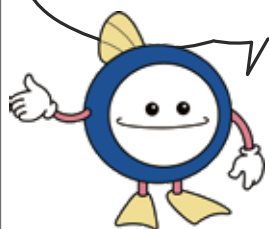
川や海などをきれいに保つ

汚水をきれいに処理して川や海に流すことで、生き物が住める環境を保っています。

まちを浸水から守る

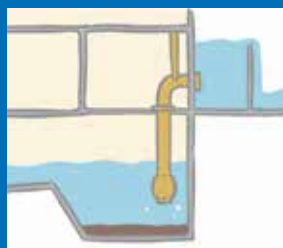
雨水による浸水を防ぎ、道路や住宅を水害から守っています。

水がきれいになるまで

下水処理場で
水をきれいにする
工程を見てみよう！

①ごみなどと水を分ける！

汚水に混ざっている大きなごみを取り除き、泥や砂などを底に沈めて、水と分けます。



▲沈砂池・ポンプ井

②微生物がお手伝い！

微生物が汚水の中の汚れを食べ重くなって底に沈むことで水がきれいになります。



おでい

※底に沈んだ泥や砂、微生物は「汚泥」と呼ばれます。

③きれいな水を川へ！

処理されてきれいになった上澄み水を消毒して、川へ放流します。



底に沈んだ汚泥はどうなる？



消化槽 微生物の働きによって汚泥の量を減らします。



脱水機 遠心脱水機で水分を飛ばします。

乾燥機 乾燥させてさらに水分を飛ばします。



乾燥汚泥コンポスト施設 牛ふんなどと混ぜて肥料として有効活用しています。

「くしろ下水道さわやかフェア2026」の開催について

「くしろ下水道さわやかフェア」を開催します。施設見学や微生物観察、はたらくるまの展示など下水道を楽しく学べる催しがたくさんありますので、ぜひご来場ください。

申込
不要

日時 9月6日(日)午前10時～午後2時(最終受付)
※雨天の場合は中止となります(市ホームページなどでお知らせします)。

場所 古川終末処理場(古川町7-4)
※駐車場あり。当日は交通誘導員が入口に常駐しています。

問合先 市上下水道部下水道施設課(☎24-5131)



イベント内容

- ◆下水処理施設見学 ◆マンホールカードの配布
- ◆はたらくるまの展示 ◆微生物観察
- ◆カラーマンホールの展示 他



▲下水処理施設見学の様子 ▲こども縁日の様子